

作成日 2009 年 10 月 6 日

改訂日 2020 年 1 月 21 日

製品安全データシート (SDS) 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)

1. 製品等および会社情報

製品名： 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)
会社名： 日化メンテナンス株式会社
担当部署： 品質・技術グループ
所在地： 茨城県筑西市下江連 1250
電話番号： 0296-26-7039
緊急連絡先： 0296-26-7039
FAX 番号： 0296-28-2734

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性：分類できない
健康有害性：分類できない
環境に対する有害性：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル： 該当しない

注意喚起用語： 該当しない

危険有害性情報： GHS 分類は該当しないが、多量に吸入、経口摂取すると咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別： 混合物

化学名または製品名： 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)

成分および含有量：

化学名または一般名	含有量(wt%)	化学特性 (示性式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
炭酸カルシウム	75~76	CaCO ₃	1-122	471-34-1
その他の成分	24~25	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、水でうがいをする。多量の場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 付着部または接触部を水で洗い流す。
目に入った場合： 直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤： 製品は不燃性であり、周囲の火災に適合した消火剤を使用する。
特有の危険有害性： 高温で分解する際、イオウ酸化物、一酸化炭素等のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。風上から消火剤を用いて消火する。
消火を行なう者の保護： 消火活動は風上からおこない、適切な保護具（呼吸保護具、眼鏡、手袋）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 漏洩時の処理等の作業の際には、皮膚に直接触れないように保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。漏洩した場所の周辺は関係者以外立ち入り禁止とする。
環境に対する注意事項： 漏出物を河川や下水へ直接流さないよう注意する。大量に河川等へ流出し、周辺環境への影響が懸念される場合には、直ちに関係市町村担当者へ連絡する。
除去・回収方法： 掃き集めて空容器に回収する。
二次災害の防止： 除去作業後に床が濡れた状態の時は滑りやすいため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策： 粉塵等が発生する場合、または皮膚に直接触れる可能性がある場合は、吸入や眼・皮膚等への接触防止のためマスク、眼鏡、不浸透性手袋等の保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。
注意事項： 容器は破損しないように、投げ積み等をしない。
取扱い注意事項： 必要に応じて換気を十分に行なう。

【保管】

適切な保管条件： 直射日光を避け、通気の良い場所で、湿気を避けて保管する。地面には直置きしない。酸から離して置く。
容器包装材料： 湿気を防いで密閉できる容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。
許容濃度： 日本産業衛生学会¹⁾：総粉塵 4 mg/m³（炭酸カルシウムとして）

ACGIH(TLV)²⁾ : TWA 10mg/m³ (炭酸カルシウムとして)

設備対策 : 必要に応じて安全シャワー、手・眼の洗浄設備を設置する。
粉塵が発生する場合、排気装置を設置する。

保護具 :

- ・呼吸用保護具 : 粉塵が発生する場合は、一般型粉塵マスクを着用する。
- ・眼の保護具 : 必要に応じてゴーグル型保護眼鏡を着用する。
- ・手の保護具 : 必要に応じて不浸透性保護手袋を着用する。
- ・皮膚・体の保護具 : 必要に応じて保護衣、保護長靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 白色流線星型柱状 (外接円直径約 62mm、長さ約 135mm)
臭い : 無臭
融点 : 分解温度 900 °C (炭酸カルシウム)
pH : 9.5~10 (懸濁水溶液 10g/L-蒸留水)
水溶解性 : 難溶
その他の性質 : 情報無し

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件下では安定である。
反応性 : 特になし。
避けるべき条件 : 特になし。
混触危険物質 : 酸性液に接触すると溶解する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (炭酸カルシウム) : LD50 : 5,000mg/kg (経口投与 : ラット)
亜急性/慢性毒性 : 情報なし
皮膚/眼に対する腐食性・刺激性 : 情報なし
感作性 : 情報なし
変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし
その他の有害性 : 情報なし

12. 環境影響情報

残留性/分解性 : 情報なし
生体蓄積性 : 情報なし
生態毒性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄を委託する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」などの関係法令を遵守する。

汚染容器・ 包装： 水洗した後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 該当しない

国連分類： 該当しない

その他： 輸送の場合、周辺環境へ排出しないように注意する。容器・包装等の破損に注意する。

15. 適用法令

- ・ 化審法： 既存化学物質、官報公示整理番号：1-122（炭酸カルシウム）
- ・ 労働安全衛生法： 該当しない
- ・ 化学物質管理促進法（PRTR法）、消防法、毒物劇物取締法： 該当しない
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規則（拡散、流出の禁止）

16. その他の情報

参考文献：

- 1)許容濃度の勧告（2006-2007）日本産業衛生学会 産業医学 48巻
- 2) American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) (2007) TLVs and BEIs.

この製品安全データシートは、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。含有量、物理化学的性質、危険有害性などの記載内容は保証値ではありません。